そばにいるから、できることがある。 JP 日本郵政グループ

この国のあたりまえを、この国のすみずみに。

離れて暮らすお孫さんに、「お誕生日おめでとう」と伝えるおばあちゃんがいる。
10年ぶりの同窓会に、「楽しみにしてるよ」と返信する人がいる。
ぎっしり想いが詰まった手紙や葉書を、待っている人の元に届ける仕事。
郵便という仕事は、しあわせな仕事なのだと思います。

ビジネスの街で、地方の小さな町で、海に囲まれた島で、
さまざまな家の郵便受けに手紙や葉書をお届けするたびに、思うのです。
どこに住んでいても、想いのこもった一通の重さは、変わらない、と。
だから私たちは、雨の日も風の日も、集配の赤いバイクを走らせるのです。
毎日、約6千百万通の郵便物を、この国のすみずみまでお届けするために。

郵便という仕事は、ユニバーサルサービスです。
手紙や葉書といった郵便物は、全国均一のできるだけ安い料金で、
週6日、1日1回以上、原則として差し出された日から3日以内に、
日本中のすべての家にお届けすることが法律で義務付けられています。
新聞や雑誌などの定期刊行物、通信教育用の郵便物、
点字の手紙など特定の目的で福祉増進に貢献する郵便物は、
一般の郵便物よりもさらに安い料金とすることとされています。
国際郵便は、国連の専門機関である万国郵便連合が定めるルールのもと、
世界約２００の国や地域との間でサービスを提供しています。

そのために、日本中に18万本以上のポストがあります。
2万4千の郵便局があります。そのうち約1／3の郵便局は、
過疎地といわれる地域の人たちの近くで、今日も仕事をしています。
それが、ユニバーサルサービスを担う私たちの、責任と誇りなのです。

郵便局と同じ町で暮らす人の顔を、一人ひとり思い浮かべながら、これからも。
郵便という仕事は、ユニバーサルサービスという仕事は、
人のことを思い、人の暮らしを想像する仕事だから。

ユニバーサルサービスという責任。

日本郵便株式会社

JP POST 郵便局